

## 2023年度の学生向けプログラムがスタート

昭和女子大学、山脇美術専門学校、東洋大学で出前講座を開催し、2023年度の学生向けプログラムがスタートしました。昭和女子大学ではショーン・ローラー氏(カナダ林産業審議会)により、カナダの森林植生や木材などについて英語で講義が行われ、講義後には「欧州材とカナダ材に違いがあるのか」といった質問などが寄せられました。山脇美術専門学校と東洋大学では菊池清氏(ウイング株)が講師となり、出前講座は今回が初めてとなる山脇美術専門学校では、33名の学生がツーバイフォー工法の概要について学び、後日建築現場を見学しました。また、東洋大学では出前講座初の取組みとなる製図の演習を行いました。

山脇美術専門学校(6月30日、東京都千代田区)／講師はツーバイフォーの壁組み、床組みの模型、製材のサンプルを手に取って講義を進めた。



昭和女子大学(6月27日、東京都世田谷区)／大学キャンパスには活気が戻り、学生たちは講師の話に熱心に耳を傾けた。



東洋大学(7月3日、埼玉県川越市)／2時限180分の授業で、今回の講義のために用意した教材により、学生たちは製図を通じてツーバイフォー工法のプランニングルールと構造の基本を学んだ。